

平成28年度 小平第二みどり作業所 事業実績報告書

1 総括

平成28年度はワークセンター夢の樹、夢の樹みどり、小平第二みどり作業所の就労継続支援B型の事業再編成が法人の重点課題であった。生活支援のニーズの高い利用者に対しては生活介護事業によって、より個々のニーズにあった支援を行い、就労継続支援B型との機能分化を進めるというもので、夢の樹みどりの事業を生活介護に変更し、対象利用者を受けとめるという形での実現となった。小平第二みどり作業所でも個別面談により利用者やその家族に計画の趣意を丁寧に説明することにより、スムーズに利用者の再編成を行うことができ、47名中12名が生活介護への移動ということになった。また、このことにより、定員に空きが生じ、平成29年度以降地域の利用ニーズに継続して応えていくことが可能となった。

事業再編については一人ひとりの利用者が混乱なく新生活に移行できるよう、ワークセンター夢の樹、夢の樹みどりと共同で詳細な計画を作成したが、環境の変化が苦手な方も多いため、移行後の丁寧なフォローが必要と考えている。

28年度の活動については概ね27年度と同様の内容となった。安定して事業を行え、日常の業務を通じて職員の直接支援能力の底上げが行われた。機能分化の事業再編が中心テーマの一年であったが、その中で少しずつ事業の充実が図られた。

2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 47名 (平成29年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 17名 (平成28年3月31日現在)

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	5名	(常勤換算5.0)
生活支援員	9名	(常勤換算7.5)
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
 - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
 - ② 生き生きと働ける職場
 - ③ 職業指導の充実
 - ④ 賃金の保障
 - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援

- ① 日中活動の支援
- ② 豊かな生活の支援
- ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- ⑤ 利用者への相談支援
- ⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 緑化推進事業
- ⑥ 受注作業（ポストイング作業等）

2) 生活支援事業

- ① レクリエーション（月1回実施）
- ② 音楽教室（月2回実施）
- ③ 旅行（年1回実施）
- ④ 生活支援プログラム（週3日実施）
- ⑤ 夕方生活支援事業（週3日実施）

3) 行事

- | | |
|-----|------------------------|
| 4月 | 永年勤続表彰式・新社会人を祝う会 |
| 5月 | 小平市障がい者運動会 |
| 6月 | コカコーラ工場見学 |
| 7月 | 南極・北極科学館見学 |
| 8月 | 川遊び、みんなの音楽会 |
| 9月 | 羽村市動物公園見学 |
| 10月 | 一泊旅行（千葉県旭方面） |
| 11月 | カラオケ（SHIDAX 国分寺恋ヶ窪クラブ） |
| 12月 | 忘年会 |
| 1月 | 成人を祝う会 |
| 2月 | 防災訓練 |
| 3月 | カラオケ（BIGBOX 東大和） |

6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～	9:15
作業	9:15～	10:00
朝礼	10:00～	10:20
作業	10:20～	12:00（休憩15分間）
休憩	12:00～	13:00
昼礼	13:00～	13:20
作業	13:20～	15:00（休憩15分間）
お茶	15:00～	15:20
終礼	15:20～	15:30
送迎	15:30～	16:40
片づけ・記録等	16:40～	17:10
職員打ち合わせ	17:10～	17:30

7 重点課題・目標に対する成果と課題

1) 可能な限りの利用希望者受け入れ

1、2年内に新規受け入れが難しい状況になると予測している中、地域福祉を担う事業所としての役割を果たすため、既存利用者の居場所も考えながら受入可能人数を慎重に判断していく。

【成果と課題】

28年度内の退所者1名、新規受け入れ0名で、29年3月31日現在の利用者数は47名となった。29年度より夢の樹みどりへ12名が移動する為、28年度末での受入れ可能人数が概ね16人となり、事業再編前に比べて12人増が可能となった。

利用者一人ひとりの活動スペースや職員配置を考えると、日々定員40名が当事業所の適正規模と考える為、この人数を基準に今後新規受け入れを行っていききたい。

2) 利用者一人ひとりのニーズに合わせた機能分化へ向けた検討

工賃向上や一般就労への移行に対して報酬面で評価を行うという制度の趣旨と利用者の実態に開きがある為、一部生活介護への移行も視野に入れながら、利用者一人ひとりのニーズに合わせた機能分化について検討を進めていく。

【成果と課題】

就労継続支援B型から生活介護に事業種別を変更する夢の樹みどりへ利用者47名のうち12名が移動し、より丁寧な生活支援や作業支援が行える環境整備を行った。移動する利用者や家族には個別面談にて丁寧に計画の趣旨や事業再編後の活動について説明を行い、協力を得ることが出来た。事業再編後の利用者一人ひとりの活動の充実が求められるため、29年度以降事業の充実に向けて努力していききたい。

3) 職員一人ひとりのスキルアップと理念の共有

- (1) 支援技術を学ぶ研修会への参加、情報共有の正確性及びスピードの向上、関係機関との連携強化などを通じて、利用者の生活を総合的にサポートする力をつける。
- (2) 法人理念を共有した上で、職員一人ひとりが同じ方向を向き、一つひとつの課題を事業所全体で考えていく文化を定着させる。

【成果と課題】

- (1) 研修や日々の実践を通して利用者個々の状況把握や有効な支援方法を習得また共有することで全般的に直接支援能力の向上が図られた。しかし、事業所の活動以外の生活全般にわたる相談に対しては、他の障害福祉サービスや社会資源の知識を有していないと対応できないことが多く、結果的に施設長が中心となってその対応にあたり、実際の相談支援業務を通じて計画的に職員が学習するという機会を作ることはできなかった。また、状況に応じて職員も関係者会議への参加や支援計画の作成に携わることはできたものの、自発的に相談業務に関わろうとする姿勢は不足していたといえる。
- (2) 日々のミーティングや職員会議の際に意見を引き出すよう工夫を行い、一人ひとりの職員が積極的に自分の意見を表明するようになった。これにより一つひとつ課題に対して職員が主体的に取り組むことが増えてきている。

8 その他の課題・目標に対する成果と課題

1) クッキー製造・販売

多くの利用者が参加でき、働く楽しみを知ることを第一の目的としている為、利用者のペースに合った作業提供を行っていくとともに、一人ひとりの可能性を伸ばせるような支援を行っていく。また、製造用冷蔵庫の老朽化が進んでいる為、業務用冷蔵庫を新たに購入する。

【成果と課題】

作業工程の細分化や職員の配置を増やせたことにより、多くの利用者が参加することが出来た。また、全般的に一人ひとりへの丁寧なかかわりが出来、技術習得や向上への取り組みが行えた。老朽化が進んでいた製造用冷蔵庫の購入については、補助金を申請し新しい業務用冷蔵冷凍庫を1台整備することができた。

2) パン製造・販売

担当職員を1名増やし、製造個数の増加を図る。また、27年度に店舗用冷蔵ショーケースを購入し、冷蔵商品（サンドウィッチ、シフォンケーキ等）の種類を増やしていく。並行して営業活動による販路拡大も積極的に行い、売上約280万円を目標とする。

【成果と課題】

パン製造専属の職員を1名増やしたが、製造技術の向上に多くの時間を費やし、計画的に製造個数を増やすことができなかった。また、冷蔵商品については、既存商品であるシフォンケーキの種類を3種類増やすことができたものの、サンドウィッチを商品化することはできなかった。売上は前年度とほぼ同額の年額約245万円となり、目標を達成することはできなかった。新たに配置された担当職員の更なる製造技術向上と計画的な販路拡大が来年度以降の課題である。

9 開所状況

- | | | | | |
|---------|-------------|-----------|---|------------|
| 1) 開所期間 | 自 | 平成28年4月1日 | 至 | 平成29年3月31日 |
| 2) 開所日数 | (1) 週開所日数 | 5日間 | | |
| | (2) 開所時間 | 午前9時～午後4時 | | |
| | (3) 年間延開所日数 | 242日間 | | |
| | (4) 平均活動時間 | 4時間 | | |

10 利用状況

- | | |
|-------------|--------|
| 1) 利用者延人員 | 8,844人 |
| 2) 1日平均利用人員 | 36.5人 |
| 3) 体験実習者延人員 | 125人 |
| 4) 1日平均実習人員 | 1.9人 |
| 5) 実習者実人員 | 18人 |

11 利用者状況（平成29年3月31日現在）

1) 年齢

- | | |
|------------|-----|
| 20歳未満 | 3名 |
| 20歳以上30歳未満 | 18名 |
| 30歳以上40歳未満 | 12名 |
| 40歳以上50歳未満 | 8名 |
| 50歳以上60歳未満 | 4名 |
| 60歳以上70歳未満 | 1名 |

70歳以上 1名

2) 障害の状況

愛の手帳 40名 (内身障手帳4名、精神保健手帳1名)
身体障害者手帳 6名 (内愛の手帳4名)
精神保健福祉手帳 5名 (内愛の手帳1名)
手帳不所持 1名

3) 通所手段

送迎車利用 22名 (内6名家族送迎、3名交通機関と徒歩、4名徒歩と併用)
交通機関利用 5名 (内4名送迎及び徒歩、1名送迎、2名徒歩と併用)
徒歩等 28名 (内2名送迎、2名交通機関、2名送迎及び交通機関と併用)
家族送迎 7名 (内6名送迎と併用)

4) 居住状況

管内居住 41名 管外居住 6名

5) 性別

男性 27名 女性 20名

1.2 利用者工賃

平均工賃 月額 : 13,507円 (前年度 12,623円)
日給 : 819円 (前年度 815円)
時給 : 245円 (前年度 240円)

1.3 生活支援PG実施状況

1) 実施日数 (1) PG実施日数 132日
(2) 週平均実施日数 2.5日
2) 利用者 (平成29年3月31日現在)
(1) 利用者数 5人
(2) 利用者延人数 501人
3) 支援者 (平成29年3月31日現在)
(1) 職員 5人
(2) アルバイト 13人
(3) 職員延人数 97人
(4) アルバイト延人数 410人
4) 内容 (1) ウォーキング 73回
(2) プール 109回

1.4 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.5 防災

年3回9月、2月、3月に防災訓練を実施した。